

★柿添病院

柿添病院での地域研修では、「島への訪問診療」、「片道1時間かけての佐世保への救急搬送」、「マムシ咬傷の症例」など、平戸の地域特性を肌に感じる機会に恵まれました。また、日常業務においても患者さんの住む場所や家庭の都合を考慮しての方針決定など、“医療は地域のニーズにあわせて変化する”ことを体感しました。1ヶ月間の地域研修も終わりを迎え、愛着すら湧いてきた平戸の地を去ることに寂しい気持ちもありますが、今回の研修で学んだことを今後の診療にしっかりと活かしていきたいと思えます。

最後になりましたが、今回の研修にあたりお世話になった方々に心より御礼申し上げます。

古内宏和（静岡済生会総合病院）



★平戸市民病院

9月は計4人の研修医がお世話になり、研修を1か月間行いました。健診、外来、訪問診療で患者さんとの対話を日々行い、普段の研修ではなかなか感じることでできない患者医師関係を勉強させていただきました。患者さんが病院に来院し診療を行うだけでなく、医師が出向いて講座を行う出前講座に参加させて頂いたり、離島での診療に実際に携わることで、人と人の信頼関係をまず基盤に置いた医療を学ぶことができました。短い間でしたが、スタッフの方々には大変お世話になりました。有難うございました。

綿貫慎太郎（横浜労災病院）

横井一範（日生病院）

高田真基（京都医療センター）

目時嵩也（四国こどもと

おとなの医療センター）



★青洲会病院

9月の1ヶ月間青洲会病院で研修させていただきました。訪問診療など、普段の研修とは全く違ったことをたくさん経験する事ができ、青洲会病院が地域に根付いて、地域住民のことを本当に考えていることが伝わってきました。これからの医療は、病気を治すだけでなく、病気を予防する、あるいは退院した後の生活も考える必要があるということ、自然に囲まれた環境の中で、じっくり考えるいい機会となりました。お世話になった先生方をはじめ、医療スタッフの皆様、地域住民の方々、本当にありがとうございました。

小山倫太郎（福岡青洲会病院）

沼尾瑠璃奈（横浜労災病院）



★生月病院

2014年9月の一か月間、生月病院で研修させていただきました。外来では、新患の対応やケガの縫合など、内科・外科問わず初日からフル回転でした。島の人とはとにかく元気で、90代後半のお婆ちゃんが歩いて診察室に入ってくることに驚かされ、様々な主訴に対して医学書をこっそり見ながら病気や薬の説明を行い、健診では怪しい所見が無いが、心電図・エコー・X線写真と必死ににらめっこしていました。また入院患者の治療方針も、上級医の支持を仰ぎつつ、この検査はどうか、あの薬を使ってみようと、二人で常にアセスメントシプランを立てていました。その他、往診やグループホームの回診など、患者様の生活背景を考慮しつつ診療に当たることの難しさも経験しました。全体を通して、エコーや内視鏡、治療など随分と好き勝手に、のびのびとやっていました。色々足りない点ばかりの二人でしたが、先生方の強力なバックアップのみならず、看護師や検査技師、事務の皆様にも優しく見守っていただき、充実した研修生活を過ごしました。本当にありがとうございました。

山口圭祐（長崎医療センター）

藤尾俊允（北里大学病院）

平成26年9月30日

発行：ながさき県北地域医療教育コンソーシアム

<http://hekichi-byoinsaisei.net/agonet/>